

特別支援教育に携わって

大阪市立成南中学校

教諭 杉岡 喜宏

私が、大阪市の特別支援教育に携わってから二十一年が終わろうとしています。勤務している間に名称が養護教育・特別支援教育・インクルーシブ教育にかわりました。しかし、名称が変わっても本質は同じで、先輩の先生方がこれまで培ってこられたことを引き継いできています。

私が支援教育担当として勤務した中学校は6校で、本人や保護者の希望により抽出して授業を行ったり、入り込みを行って授業の内容をサポートすることもありました。それぞれの学校には、生徒一人ひとりのことを考えて指導していく良さがあり、その学校にあった指導方法を見つけていくことの大切さを学びました。また、本人や保護者と面談することにより本人の特性を把握し、本人の思いを受け止めることの重要さが胸に沁みました。それから、本人の特性を最大限に生かすために、よいことを行った場合些細なことでも褒めて、やる気を起こさせ学校が楽しめる場所であることを気づかせることが大事であると考え、実践しているところです。

この度定年退職するにあたりこれから支援教育をけん引していただく次世代の先生方に残しておきたいことは、

- ・特別支援教育は奥が深く楽しいものです。
- ・自分に合った指導方法を見つけてください。
- ・特別支援学級はチームとして活動を！
- ・ひとりで悩まず頼れる人に相談を！

です。

最後になりましたが、私にとって特別支援教育は日々新しい発見のある新鮮なものでした。そして、とても不思議で充実感のあるものでした。

皆さん 本当にありがとうございました。また、お会いできることを楽しみにしています。